

水辺活動

プログラム名	いかだ遊び			
概要	グループで協力していかだを作り、浜名湖に浮かべる。浜名湖の自然を感じる。			
ねらい	協力・工夫し作ることで、協調性や創造性を高めることができる。浜名湖の良さや水に親しむ体験ができる。			
条件	対象	小学4年生以上	人数（指導者人数）	～80人※1（6人以上）
	活動目安時間	150分程度	活動時期	6～10月
	活動場所	マリナー広場、ハーバー	費用	※1 艇500円
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）軍手、飲料、ゴーグル、タオル、着替え、濡れてもよい服（長袖、長ズボン、下着として水着可） 帽子（制作時）、水泳帽（入水時）、濡れてもよい靴、日焼け止め（必要に応じて） （貸出）ライフジャケット、いかだの材料			
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症、脱水症状、体の冷え（適度な休憩や水分補給、帽子着用の徹底） 貝殻、漂流物でのケガ（靴や軍手の着用、浅場で腹ばいにならない、腰より低い水位で乗降をしない） スロープでの転倒（水際は苔で滑りやすいと注意喚起、ゆっくり1歩ずつ姿勢を低くして歩く） 板材での切傷（軍手着用の徹底、板材ささくれ注意） 毒のある生き物やカニによるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告） 溺水（ライフジャケット着用の徹底）			

活動内容（手順）

事前①指導者配置の決定：所定の「活動プログラム時の団体指導者の役割分担表」を作成、提出

②グループ編成：艇数は最大5艇、8人1グループが好ましい。（ローテーションの場合は制作は一緒に行う）

グループ内でパディ（2人組）を決定（健康状態確認、点呼を常にパディでする）

③下見の実施：ハーバー内、危険箇所の把握

④実施方法の決定：活動内容や時間、休憩時間の設定

⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物確認、入水すること、スロープ内が滑りやすいことを周知

活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と団体責任者・担当指導者と実施

実施判断：気象を基に、協議の上決定（当日の天候・気温・水温・風速・風向等）

確認事項：人数、グループ、グループ内のパディ、健康状態、配慮事項、服装、活動手順

活動①指導：所員より、いかだの材料の説明→艇庫内の材料を取りに行く→それぞれの作業場所に持っていく。

②活動開始：いかだ作り→準備運動→ライフジャケットの着用→いかだ乗り体験→着替えと材料の片付け（真水で洗って干す）

③確認事項：人数、健康状態

④振返り：活動の感想を発表

⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰と清掃

<その他>

※1→交代制の場合（1ローテにつき40人、2ローテまで）

※交代制の場合は、艇数が多い回の費用をいただきます。

（例）1回目：3艇で活動 2回目：4艇で活動 →4艇分（2,000円）のご請求

※スロープ、ハーバー内は必ずライフジャケットを着用すること。

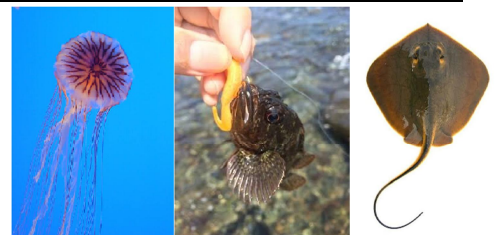
※制作時は熱中症対策のため、ライフジャケットは着用しない。

★毒のある生き物として、主に、赤クラゲ、オコゼ、アカエイが挙げられる。

◆赤クラゲに刺されたら…海水で患部を洗う→ゴム手袋をしてピンセットで触手を取る→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける医療機関へ

◆オコゼに刺されたら…流水で患部を洗浄する→棘を抜く→毒を吸い出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたら…海水で患部を洗う→毒針を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ



赤クラゲ

オコゼ

アカエイ